

SUEMURA EIICHIRO

守谷市議会議員

すえむら 英一郎

後援会ニュース

MORIYA CITY COUNCIL MEMBER

もりや市議会だより 2018年1月号 【討議資料】



音楽ホールの新設を求める陳情が提出されました

「守谷市市民ホールをつくる会」より、音楽ホールの新設を求める内容の陳情が提出され、私の所属する総務教育常任委員会においても議論がなされました。

守谷市は良くも悪くもハコモノの少ない街で、ホールのなものといえば中央公民館にしかない状況ですが、その中央公民館も建設後30年以上経っておりまして、大規模な修繕が予定されております。このような中、中央公民館のホールに関して修繕だけでなく、新しい機能を持たせた改修まですべきだ、いやいや中央公民館とは別に新しい施設が必要だなど、さまざまな要望や意見が出てきている状況と感じます。

陳情者の方の代表に委員会へご出席頂きまして、陳情内容の具体的なところを確認させて頂きました。

- 通常の市民ホールではなく、壁や天井の反響等にも専門工事が入った「音楽ホール」を望むこと。
- 座席数としては800席以上を望むこと。
- 中央公民館の改修や建て替え等ではなく、別の場所への新設を望むこと。

議会の結論としては「継続審査」になりました。次回以降の定例会議において再度協議がなされます。

仮に、音楽ホールの新設を目指すとしても場所の選定、予算的なシュミレーションなど行政サイドとの協議が必要です。

また、財政的な負担を納税者としてどのように考えるかなど、陳情者やその他市民の方々とも意見交換が必要と思われます。



個人的には、陳情者の方々が望んでいる規模の音楽ホールは、守谷市の財政規模からすると、かなりの負担になると感じています。

仮に、建設費に関しては補助金や起債で賄えたとしても、数十年単位でランニングコストがかかってきます。

近隣自治体の類似施設等を参考に考えると、施設の規模にもよりますが、少なくとも年間2～3億くらいはかかってくるのではないのでしょうか。慎重な議論が必要と感じています。